

経営改善計画

～「医療系総合大学」としての積極的な前進と改革のために～

平成29年11月

公立大学法人 和歌山県立医科大学

経営改善計画の基本的な考え方

○経営改善計画の趣旨

和歌山県立医科大学は、「教育」「研究」「診療」を3本柱に様々な取組を実施してきました。

- ・教育 医学・保健看護学に関する高度な専門的知識や技術を培う教育、地域医療を支える人材を育成する教育など
- ・研究 がんに関する研究をはじめ、先進的な研究を推進するとともに、臨床研究センターを開設するなど研究体制を充実
- ・診療 大学病院かつ本県唯一の特定機能病院として、高度・先進的医療の提供により地域医療に貢献

一方で、こうした取組の原動力となる人員体制の充実等による人件費の増加、医薬材料費の増加等により経費が膨らんだ結果、平成28年度決算において、平成18年度の法人化後、初めて経常赤字を計上しました。（平成28年度決算：経常損益▲3.4億円）

さらに、今後経営改善に取り組まなければ、人件費・減価償却費等の固定経費や消費税増税による医薬材料費の増加等により赤字額が拡大し、一層厳しい経営環境となることが予想されます。

本学の今後の収支見通し(経営改善に取り組まない場合)

(単位:億円)

	H28年度 決算	H29年度 見込額	H30年度 見込額	H31年度 見込額	H32年度 見込額	H33年度 見込額	H34年度 見込額	H35年度 見込額
業務収益	353.9	358.2	360.9	362.0	362.1	365.9	366.2	368.9
業務費用	357.3	367.3	368.7	371.0	378.8	383.0	382.8	389.6
業務損益	▲ 3.4	▲ 9.0	▲ 7.9	▲ 9.0	▲ 16.7	▲ 17.1	▲ 16.6	▲ 20.6

※平成28年度決算等に基づき、一定の仮定を置いて本学の今後の経常収支を試算したものの

今後、社会情勢の変化や多様なニーズに対応し、教育・研究・診療のさらなる充実を図るには、経営を改善し強固な経営基盤を構築する必要があるため、本計画を策定するものです。

- 基本方針 収入増加や経費抑制に関する経営改善の取組について、具体的な数値目標を定め、計画の着実な実行により、経常収支を黒字化し、収支バランスのとれた経営体制を確立
- 計画期間 平成29年度から平成35年度までの7ヶ年

経営改善に向けた主な取組

○収入の増加

➤ 附属病院収入の増加

- ・ 新規外来患者数の増 (新規患者診察枠の設置や病診・病病連携の強化により、外来患者数を増加)
- ・ 新規入院患者数の増 (効率的な病床管理等により、入院患者数を増加)
- ・ 平均在院日数の適正化 (DPC制度※における最も効率的な入院期間となるよう、入院期間を適正化し、入院診療単価を引き上げ) ※DPC制度：急性期入院医療を対象とした診療報酬の包括評価制度
- ・ 査定率の縮減 (診療報酬請求内容の精査により、審査支払機関による査定率を縮減)
- ・ 紀北分院の体制強化 (診療提供体制の強化により、紀北分院の収支を改善)

○経費の抑制

➤ 人件費の抑制

- ・ 超過勤務手当の適正化 (代休取得の徹底や対象となる勤務のルール統一等により超過勤務を縮減)
- ・ 教職員の定数管理 (正規職員の増員抑制や学内助教等の非常勤職員数の適正化により人件費を削減)

➤ その他の経費抑制

- ・ 診療備品購入費の抑制 (診療備品購入費を抑制し、減価償却費を縮減)
- ・ 医薬品・医療用材料の購入価格の縮減 (取引内容の見直しにより購入価格を縮減)
- ・ 医療用機器保守委託費の抑制 (保守委託内容の見直しにより経費を削減)
- ・ 後発医薬品の導入促進 (後発医薬品の数量シェアを引き続き拡大 ※H28:73.1% 国目標80%)

経営改善計画を実施した場合の収支見通し

(単位:億円)

	H28年度 決算	H29年度 見込額	H30年度 見込額	H31年度 見込額	H32年度 見込額	H33年度 見込額	H34年度 見込額	H35年度 見込額
業務収益	353.9	367.6	372.9	375.3	376.6	380.6	380.9	383.5
業務費用	357.3	365.8	365.9	368.0	375.2	379.1	378.5	384.9
業務損益	▲ 3.4	1.8	7.0	7.3	1.3	1.5	2.4	▲ 1.4
業務損益(薬学部除く)	▲ 3.4	1.8	7.0	7.3	1.3	4.2	5.0	1.1
業務損益(経営改善前)	▲ 3.4	▲ 9.0	▲ 7.9	▲ 9.0	▲ 16.7	▲ 17.1	▲ 16.6	▲ 20.6

※H35年度の業務損益は、薬学部の学生数が増加途上により一時的に赤字。薬学部を除くと1.1億円の黒字の見込み。

- ・ 計画の内容について、毎年度検証し、見直しを行う。
- ・ 平成29年度から平成31年度までの3ヶ年で取組成果を検証。
- ・ 計画期間終了時に総合的な点検および評価を実施。